

科目名 (科目番号)	公衆衛生学 (091121)	教員名 横山 博子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー				
授業概要	公衆衛生の歴史および学問として成立する過程を解説するなかで、公衆衛生の概念を明らかにするとともに、解決すべき今日的課題について述べる。特に、今日では食や栄養と関わりの深い公衆衛生学上の問題が数多くあるので、栄養指導・管理を行う専門職として理解しておかなければならない内容も多岐にわたっている。この点を念頭に置きながら、公衆衛生統計、疫学研究の方法、感染症、生活習慣病の発生動向や予防について説明し、さらに地域保健や福祉、行政の役割に関する今日的な課題について解説する。また、生態学的なアプローチの重要性について述べる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	健康の概念とその歴史の変遷	到達目標:健康は環境要因を含めて、多くの要因で成り立っていることを理解する。 学習内容:健康の定義、健康の概念の歴史の変遷を学ぶ。				
	2	公衆衛生・予防医学の概念と意義	到達目標:公衆衛生の定義と目標と、予防医学との関係を理解する。 学習内容:公衆衛生、予防医学の概念と意義を学習する。				
	3	公衆衛生・予防医学の歴史	到達目標:過去から現在までの公衆衛生活動を知り、今の健康があることを理解する。 学習内容:公衆衛生における外国、日本の歴史を学習する。				
	4	公衆衛生活動の方法	到達目標:ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、リスクアナリシスを説明できる。 学習内容:公衆衛生活動の進め方を学習する。				
	5	環境と健康①	到達目標:具体的な環境汚染、公害を説明することができる。 学習内容:生態系と人々の生活、環境汚染と健康影響を学ぶ。				
	6	環境と健康②	到達目標:取り組みの内容と成果、限界を説明できる。 学習内容:環境衛生について学習する。				
	7	保健統計①	到達目標:目的に応じて保健統計を調べ、必要なデータを収集することができる。 学習内容:保健統計の意義と概要を学ぶ。				
	8	保健統計②	到達目標:尺度を通して、基本的な知識を理解する。 学習内容:公衆衛生統計を用い、集団の健康水準を測定する尺度を学ぶ。				
	9	保健統計③	到達目標:平均余命、健康寿命など基本統計の指標を理解する。 学習内容:基本統計の指標を学習する。				
	10	疫学①	到達目標:記述研究、分析研究、介入研究、と因果関係の意味を理解する。 学習内容:疫学の歴史と具体的研究を学習する。				
	11	疫学②	到達目標:罹患率、累積罹患率、有病率、致命率を計算できる。 学習内容:疾病頻度の指標の意味と計算方法を学習する。				
	12	疫学③	到達目標:相対危険、ハザード比、オッズ比、寄与危険を計算できる。 学習内容:曝露効果の測定指標を学ぶ。				
	13	疫学④	到達目標:敏感度、特異度、陽性反応的中度を計算できる。 学習内容:スクリーニングとは何か、意義と精度を学ぶ				
	14	疫学⑤	到達目標:エビデンス、メタアナリシス、インフォームドコンセントを説明できる。 学習内容:根拠に基づく医療、保健対策と研究倫理を学ぶ。				
15	主要疾患の疫学	到達目標:生活習慣病の概念と悪性新生物、循環器疾患を説明できる。 学習内容:日本人の主な死因についての現状と動向、対策を学習する。					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)により評価する。						
教科書	健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 改訂第5版	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 監修	南江堂				
参考図書	国民衛生の動向	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会				
教員からのメッセージ	授業内容は理解度にあわせて順番を変更することがあります。						